

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所/APTEC 共催シンポジウム
「都市観光の予測を超える成長に対する対応
～観光地をいかにマネジメントするか？」

2019年

日時

12月11日 水 13:00 ~ 15:30

(受付/開場 12:30~)

会場:メルパルク京都 5階 宴会会議場A「京極」

住所:京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13 《QR:会場アクセス》

《JR京都駅烏丸中央口 徒歩1分》



【言語】 日本語 (英語⇔日本語の同時通訳対応あり)

【定員】 150名

【参加費】 無料

【申込方法】裏面をご確認ください。

※一般の方の方の参加も可能です。ぜひご参加ください。



プログラム

UNWTO本部職員が
世界における事例を紹介 !!

- 12:30 受付開始・開場
- 13:00 主催者挨拶: 尾崎 裕 アジア太平洋観光交流センター(APTEC) 会長
マヌエル・ブトレール 国連世界観光機関(UNWTO) 上級部長
来賓挨拶: 八木 一夫氏 近畿運輸局 局長
- 13:20 基調報告「世界におけるデスティネーションマネジメント事例・課題への対応策(仮)」
黄 海國 (ハエグック・ファン) 国連世界観光機関(UNWTO) アジア太平洋部 副部長
- 13:45 講演1「持続可能な観光の推進に向けた観光庁の取組み」
片山 敏宏氏 観光庁 参事官(外客受入担当)
- 14:05 休憩
- 14:15 講演2「市民・観光客・事業者・未来 四方よしの持続可能な観光地マネジメントの実践」
糟谷 範子氏 京都市 観光政策監
- 14:30 講演3「世界遺産白川郷の本質を新たな観光資源に、次世代へ如何に繋げるか」
尾崎 達也氏 岐阜県大野郡白川村 観光振興課 課長補佐
- 14:45 講演4「持続可能な観光地管理への取組み—国外の事例をもとに—」・講評
古屋 秀樹氏 東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 教授
- 15:05 質疑応答
- 15:15 持続可能な観光指標を活用した取組 (INSTO) 報告
鈴木 宏子 国連世界観光機関(UNWTO) 駐日事務所 副代表
- 15:25 閉会挨拶: 本保 芳明 国連世界観光機関(UNWTO) 駐日事務所 代表

※登壇者・内容等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

講演者紹介 (敬称略)



片山 敏宏 (かたやま としひろ)
観光庁参事官 (外客受入担当)

1970年生まれ。福岡県出身。1994年東京大学法学部卒、運輸省(現国土交通省)入省後、本省では観光、海運、自動車行政等、また、地方では東北地方整備局、成田市副市長を経験。2015年から港湾局港湾経済課長、鉄道局鉄道事業課長、国土交通大臣秘書官、総合政策局地域交通課長を経て、2019年9月より現職。なお、観光分野は3回目の勤務。



糟谷 範子 (かすや のりこ)
京都市 観光政策監

京都市出身。1984年京都市役所入庁。産業観光、芸術文化、国際交流・多文化共生、環境政策等、多様な行政分野に従事。「古都京都の文化財」、「京都祇園祭の山鉾行事」のユネスコ世界遺産登録や「京都・花灯路」、「ニュー・ブランシュ KYOTO〜パリ白夜祭への架け橋〜現代アートと過ごす夜」等行事の創設に携わる。2014年から現職。「民泊」対策プロジェクトチーム及び「市民生活と調和した持続可能な観光都市」推進プロジェクトチームのリーダーも務める。



尾崎 達也 (おざき たつや)
岐阜県白川村観光振興課 課長補佐 兼 白川郷荻町集落の自然環境を守る会 事務局長

1976年生まれ。1999年、愛知大学経済学部卒、白川村役場入庁商工観光課配属、総務課財政係、同課消防防災係、観光振興課企画係、同課観光係に従事。一方、世界遺産白川郷で生まれ育ち地域では白川郷荻町集落の自然環境を守る会事務局長を務める。世界遺産の保全と観光、住民の暮らしのバランスに取り組んでいる。



古屋 秀樹 (ふるや ひでき)
東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 教授

1968年埼玉県生まれ。東京工業大学大学院理工学研究科修了。博士(工学)。筑波大学講師などを経て、2008年より東洋大学国際観光学部教授。専門は観光交通・都市計画、観光行動分析。ICTを活用した訪日外国人動態調査検討委員、持続可能な観光に関する検討会委員(観光庁)、ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会委員(国土交通省)、日本観光振興協会客員研究員、東洋大学地域活性化研究所長等を務める。

開催趣旨

経済発展、移動費用の低廉化、旅行手続きの円滑化、手頃な交通機関や宿泊の選択肢の増大、新興国における中間層の成長等に伴い、国際観光客数は増加の一途を辿っている。一方で、一部の地域においては観光客の増加に伴い、過度な混雑をはじめとする地域住民の生活環境の悪化や観光資源の劣化といった、いわゆる「オーバーツーリズム」に関する課題が顕在化している。

本セミナーにおいては、世界各国及び日本の状況や先進的な取組事例を踏まえ、観光客と地域住民の双方を考慮しつつ、いかに都市が持続可能な形で観光を管理していくか、求められる対応策について議論する。

参加申込方法

UNWTO駐日事務所のホームページ上で参加申込を受け付けています。

【申込方法】 <https://unwto-ap.org/event/kyoto/> **ヘアクセス**

開いたページの下部にある [お申し込みはこちらから](#) をクリック！

締切日 12月2日(月) 《先着順：定員到達次第、申込締切》

主催：国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所
(一財)アジア太平洋観光交流センター(APTEC)

《お問合せ先》

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所 本部
奈良市三条本町8番1号シルキア奈良2階
電話：0742-30-3880
Email：info@unwto-ap.org
担当：村田、吉田